

Anti human COUP-TF I mouse monoclonal antibody

COUP-TF I: Chicken ovalbumin upstream promoter-transcription factor I

製品コード PP-H8132-00

Clone No. H8132

Lot. A-2

濃度 1mg/mL

容量 100 μ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2F1

Genbank X12795

由来 ヒトCOUP-TF I (6-81 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒトCOUP-TF Iと特異的に反応する。ヒトCOUP-TF II, EAR2 には反応しない。マウスおよびラット COUP-TF I と交差反応する。

精製法 硫酸塩析法

溶媒 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN₃添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot 可
参考使用濃度 1 μ g/mL

非還元 Western Blot 未検討
参考使用濃度 -

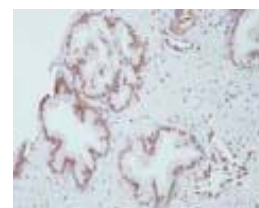
ELISA 可
参考使用濃度 0.1 μ g/mL

免疫沈降 可
参考使用濃度 適宜調製してください

Supershift Assay 未検討
参考使用濃度 -

クロマチン免疫沈降 未検討
参考使用濃度 -

免疫染色 可
参考使用濃度 10-50 μ g/mL



ヒト
前立腺
パラフィン切片



ラット
大脳
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Suh JM, *et al.* Mol Endocrinol. 2006; 20(12): 3412-20
Qin J, *et al.* Dev Dyn. 2007; 236(3): 810-20
Perilhou A, *et al.* Mol Cell Biol. 2008; 28(14): 4588-97

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jul 6, 2011